

福山市山手町字湯伝

ゆ でん
湯伝遺跡報告会資料



平成28年8月11日（木）

公益財団法人広島県教育事業団
福山市教育委員会

はじめに

公益財団法人広島県教育事業団事務局埋蔵文化財調査室では、山手赤坂線街路事業に伴う埋蔵文化財発掘調査業務委託（1工区）により、湯伝遺跡の発掘調査を実施しました。調査期間は、平成28年4月18日から平成28年6月10日までで、調査面積は640㎡です。

位置と立地

遺跡は福山市山手町字湯伝に所在します。

位置は、丘陵裾に沿って北から流れてきた芦田川が、やや東に流路を変えて蛇行する平野部の西側の山寄りで、JR福山駅から西に約2kmの距離にあります。

立地は、芦田川右岸の高増山（標高398.9m）から派生する山塊の南東に広がる平野にある低丘陵の東側裾部です。標高は4～6m、現況は畑地でした。この地域は、芦田川から流れ出てきた堆積土により形成された沖積地で、一帯は古くから芦田川の氾濫原と考えられています。

周辺の遺跡

周辺の遺跡としては、杵原古墳（山手町）、本谷遺跡、ザブ遺跡、サコ田遺跡、赤羽遺跡、沢田遺跡（津之郷町）など、弥生時代から古墳時代にかけての遺跡が確認されています。

調査の概要

調査区は、東からA区、B区、C区としました。

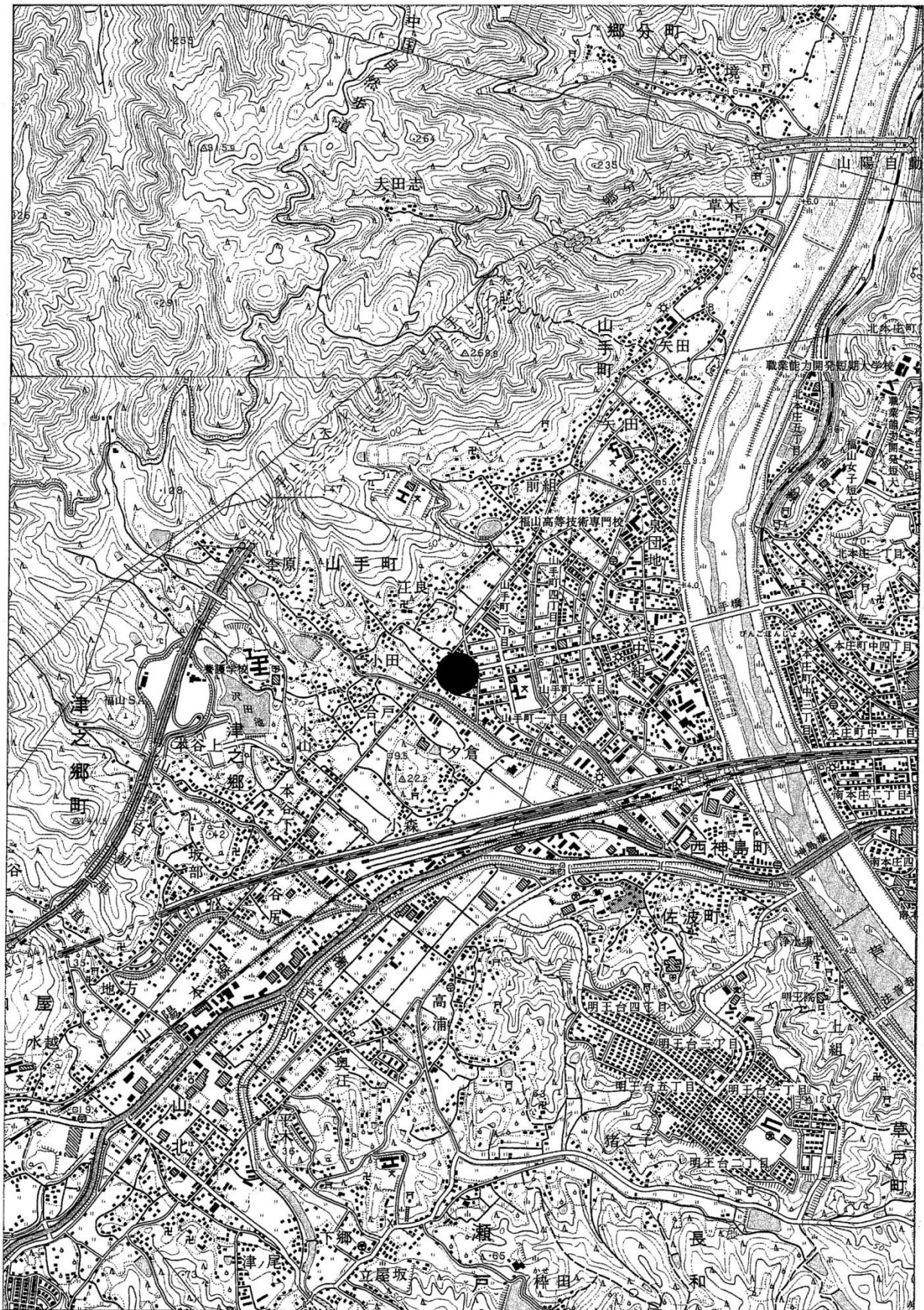
A区では、試掘調査で確認されていた遺物包含層を人力により掘り下げ、遺構の検出面まで掘削作業を行いました。調査の結果、土坑2基、溝状遺構5条、ピット10数個、性格不明遺構1基が確認できました。土坑からは、弥生土器や石器が出土しています。溝状遺構は、調査区東側の斜面下側に折り重なるように掘り込まれて、いずれも調査区外へ延びており、弥生土器が出土しています。

B区及びC区については、後世に畑地造成のための大規模な削平等が行われており、遺構検出作業を行いました但遺構は確認されませんでした。

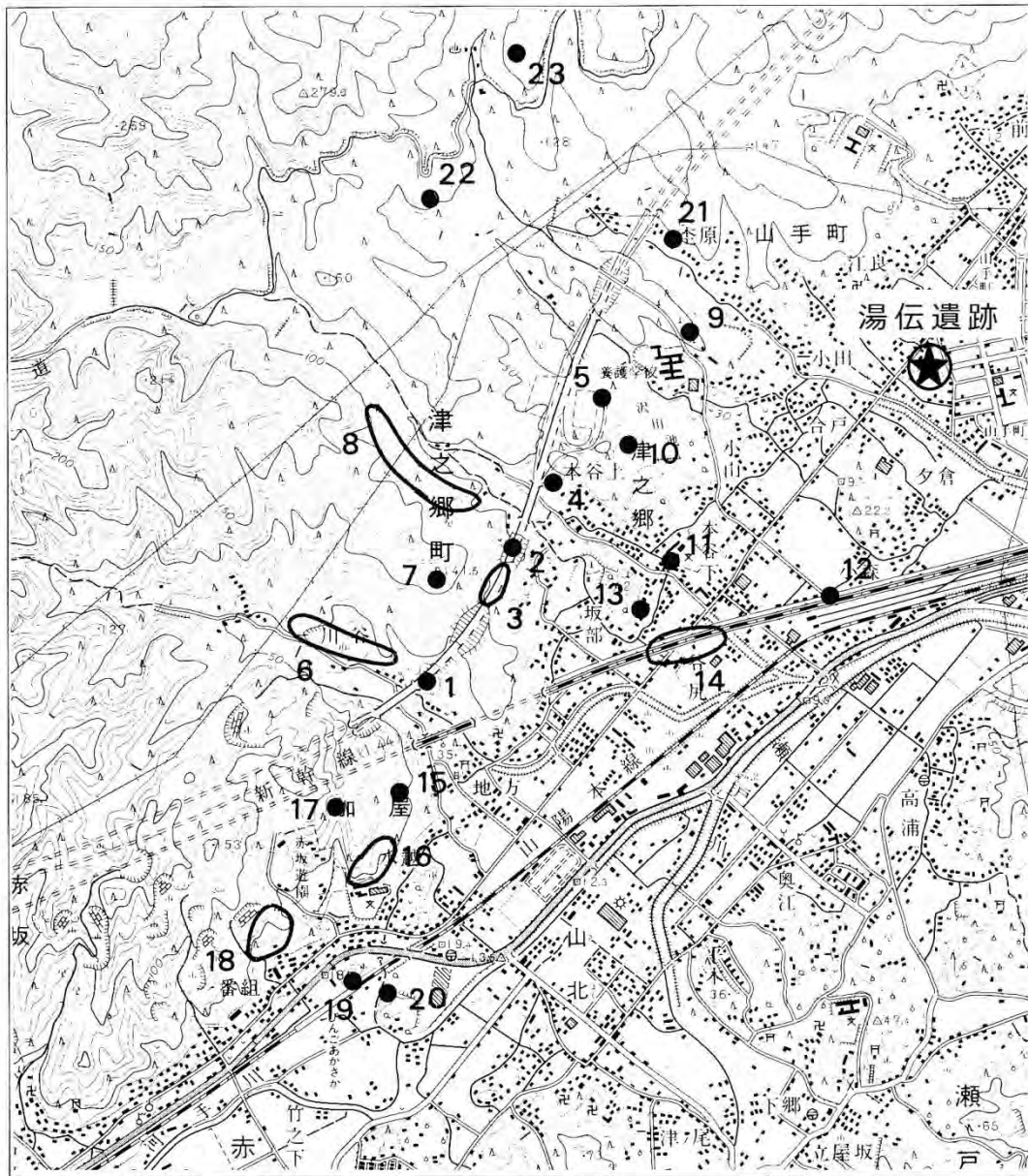
遺物は、弥生土器、土師器、須恵器、土師質土器、青磁、石鏃、石包丁などが出土しており、A区の遺物包含層からの出土がほとんどです。

まとめ

今回の発掘調査によって、弥生時代の土坑、溝状遺構、ピットなどを確認しました。福山市教育委員会が行った同遺跡の発掘調査成果と合わせて、この丘陵には弥生時代前期末から中期にかけて稲作を行っていた人々が暮らしていたことがわかります。また、土師質土器や輸入陶磁器なども出土していることから、中世においても人々が暮らしていた可能性もあります。特に、弥生時代前期の遺物については、この地域への稲作文化の伝播を考える上で重要な資料を提供したと言えるでしょう。

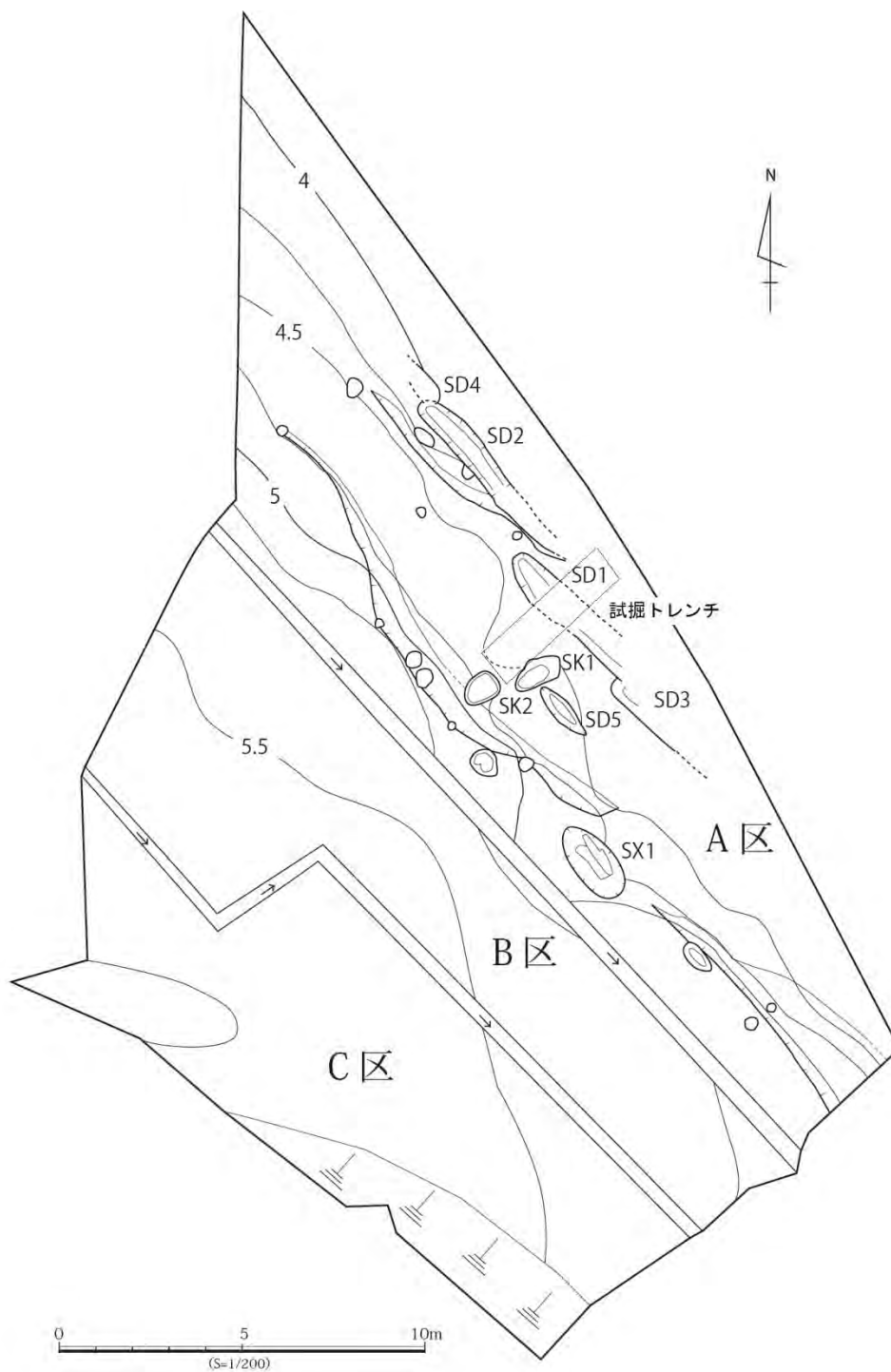


湯伝遺跡 発掘調査 位置図 (1 : 25,000)



周辺遺跡分布図（福山西部 1：25,000）

- | | | | |
|---------------------|------------|-------------|-------------|
| 1. サコ田遺跡 | 2. 赤羽遺跡 | 3. 坂部古墳群 | 4. 大歳神社横遺跡 |
| 5. 沢田遺跡 | 6. 加屋古墳群 | 7. 串山城跡 | 8. 本谷古墳群 |
| 9. 合戸1号遺跡 | 10. 合戸2号遺跡 | 11. 本谷遺跡 | 12. 小森館跡 |
| 13. 県史跡田辺寺塔跡（廃和光寺跡） | 14. ザブ遺跡 | 15. 内水越遺跡 | |
| 16. 内水越古墳群 | 17. 加屋遺跡 | 18. スベリ岩古墳群 | 19. イコーカ山古墳 |
| 20. 池下山古墳群 | 21. 杵原古墳 | 22. 俄山古墳 | 23. 銀山城跡 |



湯伝遺跡 遺構配置図 (1 : 200)

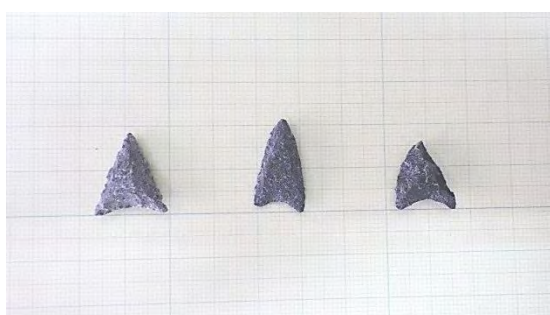
試掘
トレンチ
土層断面
(南から)



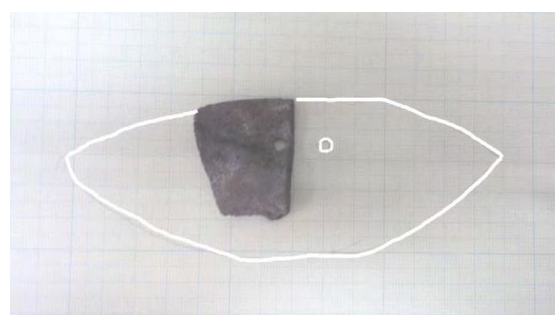
弥生土器 (高杯)



弥生土器 (甕)



打製石鏃



磨製石包丁



打製石器



中世の土錘